

**2013 年 11 月石原社長定例記者会見概要**

11 月 27 日午前 11 時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20 階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

**<編成関連>**

10 月編成は、残念ながら、上期後半の上昇傾向を継続することができていないので、年末に向けて、早急に思い切った「てこ入れ」をするよう現場に指示している。ドラマでは『安堂ロイド』が、これまでの平均視聴率 13.4%と、概ね好調を保っているが、その他のドラマは、なかなか二桁の視聴率をキープできずにいる。バラエティでは、火曜の新番組『内村とザワつく夜』と『100 秒博士アカデミー』が、スタートから2ヶ月が経って、少しずつ視聴率が上昇しており、今後に期待できそうなので、辛抱強く見守っていきたい。スポーツでは、楽天の王手で迎えた日本シリーズ第 6 戦が、田中将大投手の先発で、注目を集め、関東で 28.4%の高視聴率を記録することができた。

この後、年末年始の特別編成を迎える。目玉の一つは、新春ドラマスペシャルとして、正月 2 日の夜に阿部寛さん主演でお馴染みの『新参者』の新作、『眠りの森』を放送する。今回は熊川哲也さんの K バレエカンパニーの全面協力を得て新しい魅力を盛り込んだ。楽しみにしていただきたい。

**<営業関連>**

タイムセールスは、10 月の改編セールスが厳しい結果に終わったため、ネットタイム、ローカルタイムともにレギュラーセールスの減収で前年実績に届かなかった。年末年始セールスについてはスタートしたばかりだが、単発セールスも含めて前年を越える売上を目指して今現場が頑張っているところだ。スポットセールスは、10 月の東京地区投下量が前年実績を上回り、TBS も売上、シェアともに前年を上回った。11 月以降は市況も活況を呈してきているようで、11 月については前年実績をクリアできそうだが、12 月は前年実績を下回る見込みで、楽観視できるような状況にはない。現場には、タイム・スポットとも少しでも積み上げるよう指示している。

**<事業関連>**

映画では、公開中の「SPEC ～結(クローズ)～漸ノ篇(ぜんのかへん)」が、公開 25 日間で興収 21 億 9 千万円、動員 175 万人の大ヒットとなっている。明後日にははいよいよ後編が公開され、シリーズの謎が解き明かされるので、大いに期待している。

展覧会では、来週末から「モネ、風景をみる眼—19 世紀フランス風景画の革新」を国立西洋美術館で開催する。モネの初期から晩年までの作品 35 点と、マネ、ルノワール、ゴッホなどあわせて 100 点の作品を展示しており、お楽しみいただきたい。

冬のサカスは、先週末から、恒例となったアイススケートリンクをオープンした。今シーズンは冬季オリンピックの開催年でもあり、初めての方にもスケートの魅力に触れていただきたい。また、音と光が織り成すイルミネーション「音・テラス」や、赤坂サカスとしては初めて、自然のもみの木を使用した2本のクリスマスツリーもお楽しみいただきたい。

#### 〈ラジオ関連〉 TBSR&C 入江社長

10月聴取率調査の結果 TBS ラジオは週平均で1.3%を獲得し、2001年8月以来連続1位の記録を更新。『たまむすび』同時帯連続トップ、『日曜天国』全局トップなど健闘してくれた。また『スタンバイ』が好調で、朝の通勤時に radiko を聴くサラリーマンが増えているという実感がある。

年末年始編成:レコード大賞、駅伝、天皇杯サッカーなど恒例の中継に加えて、1980年『林美雄 パックインミュージック』最終回エンディングテーマ中無言の3分間に焦点をあてたドキュメント(12/27 19:00-)、46年続き今年9月に終了した『永六輔の誰かどこかで』の特別番組(1/1 18:00-)などをお届けする。

営業関連:レスポンス系 CM が堅調でスポットは前年100%を超えるが、タイム収入は厳しくイベント等放送外収入も予算達成はハードルが高いため、通期の利益確保には費用コントロールも厳しくせざるを得ないという状況である。

以上